当座預金出納帳

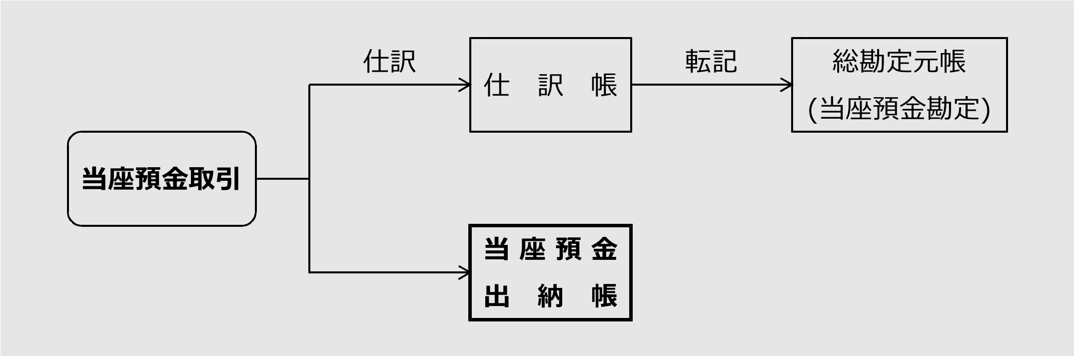
【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　当座預金出納帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

②　総勘定元帳（「当座預金」勘定）との関係に注意しよう！

当座預金の預入（増加）と引出（減少）の明細を記録するための補助簿（補助記入帳）を、**当座預金出納帳**といいます。仕訳帳と総勘定元帳への記帳のほかに、当座預金に関する取引が当座預金出納帳に記帳されます。



当座預金出納帳は以下の手順で記入します。

① 日付欄には、取引が行われた日を記入します。

② 摘要欄には、取引の内容を簡潔に記入します。

③ 預 入 欄には、当座預金の増加取引を記入します。また、引出欄には当座預金の減少取引を記入します。残高欄には、取引後の残高を記入します。また、「借または貸」欄には残高が借方残高の場合（資産としての当座預金）には「借」を、残高が貸方残高の場合（負債としての当座借越）には「貸」と記入します。

④ 月初には摘要欄に「前月繰越」と記入し、月初残高を預入欄と残高欄に記入します。また、月末には摘要欄に「次月繰越」と記入し、月末残高を引出欄に記入します（赤字で書きますが、試験では黒で記入します）。

⑤ 預入欄と引出欄の合計金額を記入し（両者は一致します）、二重線（締切線ともいいます）を引いて締め切ります。

当 座 預 金 出 納 帳

日	付	摘　　要	預　入	引　出	借または貸	残　高
4	1	前月繰越	70,000		借	70,000
	5	A社に買掛金の支払		34,000	〃	36,000
	11	B社の売掛金の回収	45,000		〃	81,000
	20	備品の購入		50,000	〃	31,000
	30	次月繰越		31,000		
			115,000	115,000		
5	1	前月繰越	31,000		〃	31,000

この当座預金出納帳から読み取れる4月の取引に関する仕訳は以下のとおりです。

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
4／5	買掛金	34,000	当座預金	34,000
11	当座預金	45,000	売掛金	45,000
20	備品	50,000	当座預金	50,000

また、この当座預金出納帳から読み取れる4月の取引に関する「当座預金」勘定の記入は以下のとおりです。

当座預金

日	付	摘要	仕丁	借方	日	付	摘要	仕丁	貸方
4	11	売掛金	省	45,000	4	5	買掛金	省	34,000
			略			20	備品	略	50,000

小口現金出納帳

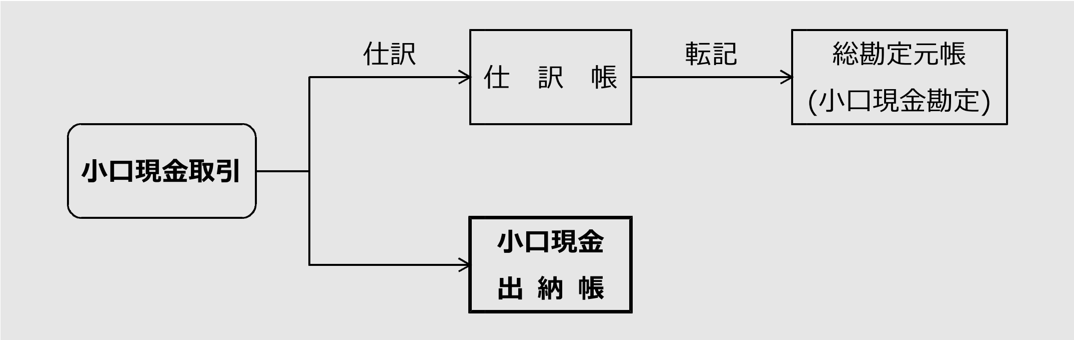
【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　小口現金出納帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

②　総勘定元帳（「小口現金」勘定）との関係に注意しよう！

前に学習した小口現金出納帳（こぐちげんきんすいとうちょう）の記入の仕方を説明します。



① 日付欄には、取引が行われた日を記入します。
② 摘要欄（てきようらん）には、取引の内容を簡潔に記入します。
③ 受入欄には小口現金として受け入れた金額を記入します。また、支払欄には支払金額を記入します。
④ 内訳欄には、支払金額を勘定科目ごとにそれぞれの欄に記入します。
⑤ 月末には摘要欄に「次月繰越」と記入し、月末残高を支払欄に記入します（赤字で書きますが、試験では黒で記入します)。
⑥ 受入欄と支払欄の合計金額を記入し（両者は一致します)、二重線（にじゅうせん）（締切線（しめきりせん）ともいいます）を引いて締め切ります。
⑦ 月初には摘要欄に「前月繰越」と記入し、月初残高を受入欄に記入します。

小 口 現 金 出 納 帳

受　入	日　付		摘　　要	支　払	内訳		
					旅費交通費	通信費	雑　費
2,000	1	1	小口現金受け入れ				
		9	電車代	300	300		
		15	切手代	150		150	
		21	お茶菓子代	100			100
		25	切手代	50		50	
			合　計	600	300	200	100
600		31	小口現金受け入れ				
		〃	次月繰越	2,000			
2,600				2,600			
2,000	2	1	前月繰越				

この小口現金出納帳から読み取れる1月の取引に関する仕訳は以下のとおりです。なお、小口現金の補給は小切手により行っており、毎月末に小口現金係から経理に1ヶ月の支払報告を受けていると仮定します。

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
1／1	小口現金	2,000	当座預金	2,000
31	旅費交通費	300	小口現金	600
	通信費	200		
	雑費	100		
〃	小口現金	600	当座預金	600

また、この小口現金出納帳から読み取れる1月の取引に関する「小口現金」勘定の記入は以下のとおりです。なお、1/31 の１つ目の仕訳において「小口現金」勘定の相手勘定科目が複数であるので、摘要欄には「諸口（しょくち）」と記入されます。

小 口 現 金

日付		摘要	仕丁	借方	日付		摘要	仕丁	貸方
1	1	当座預金	省略	2,000	1	31	諸口	省略	600
	31	当座預金		600					

帳簿組織① 問題

問題1　以下の現金出納帳および当座預金出納帳から読み取れる仕訳を行いなさい。

現　金　出　納　帳

日	付	摘　　要	収　　入	支　　出	残　　高
4	1	前月繰越	60,000		60,000
	7	買掛金の支払い		33,000	27,000
	19	売掛金の回収	34,000		61,000
	21	当座預金へ預入		10,000	51,000
	27	旅費の支払い		9,000	42,000
	30	次月繰越		42,000	
			94,000	94,000	
5	1	前月繰越	42,000		42,000

当 座 預 金 出 納 帳

日	付	摘　　要	預　入	引　出	借または貸	残　高
4	1	前月繰越	120,000		借	120,000
	3	A社より仕入		70,000	〃	50,000
	11	B社へ売上	65,000		〃	115,000
	21	現金の預入	10,000		〃	125,000
	28	買掛金の支払い		50,000	〃	75,000
	30	次月繰越		75,000		
			195,000	195,000		
5	1	前月繰越	75,000		〃	75,000

問題2　以下の小口現金出納帳から読み取れる仕訳を行いなさい。なお、当社は小口現金の管理方法として定額資金前渡制度を採用しており、１ヶ月の終わりに用度係は会計係に支払明細の報告を行うことにしている。

小口現金出納帳

受入	日付		摘要	支払	内訳		
					旅費交通費	通信費	雑費
3,000	6	1	小切手				
		3	はがき	400			
		5	電車代	200			
		7	バス代	300			
		9	電話料金	100			
		11	お茶代	500			
		15	切手代	700			
		24	お菓子代	600			
			合　計	?			
		30	次月繰越	?			
?				?			
?	7	1	前月繰越				
?		〃	小切手				

帳簿組織① 答案用紙

問題1

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
4/3				
7				
11				
19				
21				
27				
28				

問題2

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
6/1				
30				
7/1				

帳簿組織① 解答解説

問題1 **解答**

	借方科目	金額	貸方科目	金額
4/3	仕入	70,000	当座預金	70,000
7	買掛金	33,000	現金	33,000
11	当座預金	65,000	売上	65,000
19	現金	34,000	売掛金	34,000
21	当座預金	10,000	現金	10,000
27	旅費交通費	9,000	現金	9,000
28	買掛金	50,000	当座預金	50,000

問題1 **解説**

現金出納帳における4/21「当座預金へ預入」と当座預金出納帳における4/21「現金の預入」は同じ取引なので、２重に仕訳を行わないように注意して下さい。

問題2　**解答**

	借方科目	金額	貸方科目	金額
6/1	小口現金	3,000	当座預金	3,000
30	旅費交通費	500	小口現金	2,800
	通信費	1,200		
	雑費	1,100		
7/1	小口現金	2,800	当座預金	2,800

問題2　**解説**

問題文の小口現金出納帳の空欄を埋めると以下となります。電車代・バス代は旅費交通費、はがき・電話料金・切手代は通信費、お茶代・お菓子代は雑費となります。また、仕訳を行うのは会計係であり、小口現金の支払明細の報告を受けた6/30に仕訳を行うことに注意して下さい。

小口現金出納帳

受入	日付		摘要	支払	内訳		
					旅費交通費	通信費	雑費
3,000	6	1	小切手				
		3	はがき	400		400	
		5	電車代	200	200		
		7	バス代	300	300		
		9	電話料金	100		100	
		11	お茶代	500			500
		15	切手代	700		700	
		24	お菓子代	600			600
			合計	2,800	500	1,200	1,100
		30	次月繰越	200			
3,000				3,000			
200	7	1	前月繰越				
2,800		〃	小切手				